

# 25th TIFF 東京国際映画祭

The Power of Films, NOW!

TOKYO INTERNATIONAL FILM FESTIVAL October 20-28, 2012 www.tiff-jp.net

## 「インドネシア・エクスプレス～3人のシネアスト」

### シンポジウムご取材のお願い

いつもお世話になっております。第25回東京国際映画祭も4日目を迎えました。明日、「アジアの風」部門『動物園からのポストカード』エドウィン監督Q&A後、インドネシア3人のシネアスト、**エドウィン監督、ガリン・ヌグロホ監督、リリ・リザ監督**が揃うシンポジウムを開催いたします。ぜひこの貴重な機会に、ご取材頂けますよう、ご検討、宜しくお願い致します。



**日時: 10月24日(水) 『動物園からのポストカード』Q&A、シンポジウム**

**場所: TOHOシネマズ六本木ヒルズ Screen5**

**Q&A / シンポジウム 15:36～16:46**

**マスコミ受付場所: TOHOシネマズ六本木ヒルズ 劇場ロビーエスカレーター前**

**●マスコミ受付 15:05 開始**

**Q&A登壇者(予定): エドウィン(監督/脚本)**

**シンポジウム登壇者(予定): エドウィン監督、ガリン・ヌグロホ監督、リリ・リザ監督**

※スチール、ムービーの取材位置は**先着順**となります。 ※ラインをご用意しております。

※ご来場の際は、プレスパス及びお名刺をご用意下さい。

**エドウィン監督:** インドネシア、スラバヤ生まれ。1999年にジャカルタ芸術大学に入学したが、独自に映画製作をするために退学。3部作となる“Short Films about Dandruff”“Love and Desire”で世界的な注目を集め、最終章の“Kara, Daughter of a Tree”はカンヌ国際映画祭の監督週間上映されたインドネシア初の短編作品となった。長編デビュー作となる『空を飛ばしたい盲目のブタ』(08)は釜山映画祭でプレミア上映され、その後、数々の国際映画祭で受賞した。2010年にはインドネシアのオムニバス映画“Belkibolang”のうちの1エピソードを手掛けている。

**ガリン・ヌグロホ監督:** インドネシアにおける新世代の映画監督であり、カンヌからベルリンまで権威ある国際映画祭で評価を受けた初めての監督でもある。アチェ、ジャワ、スンバ、パプアなど多文化の影響を反映した長編映画、ミュージック・ビデオ、舞台劇など、手掛けた作品は多岐に渡る。映画『オペラジャワ』(06)は世界中の劇場で上映され、アメリカの「バラエティ」誌で絶賛された。また、インドネシアの社会的・政治的教育に取り組むセツ財団を主宰している。

**リリ・リザ監督:** ジャカルタ美術学校映画部を卒業。『エリアナ、エリアナ』(02)『永遠探しの3日間』(07)『虹の兵士たち』(08)などの監督作品が賞に輝く。ポスト・スハルトのインドネシア映画界を牽引する監督であり、ジャンルの壁を打破し興行的成功を収めることで知られている。

#### 【お問合せ】

東京国際映画祭事務局 コミュニケーション広報グループ 宣伝チーム TEL:03-3553-4793 FAX:03-3553-4788

**※上記スケジュールは10月23日現在のものになります。変更の可能性もございますので、プレスデイリースケジュール等にてご確認をお願いいたします。**